



photo by Miyashita

名人芸に酔いひれた とよおか金馬寄席

9月12日(土) 会場:ゆめあるて大ホール



**笑顔が咲いた
楽しい時間**
寺垣外 佐治香織
金馬師匠の落語をまた聞けると知り、友人たちを誘い「とよおか金馬寄席」へ伺いました。
三遊亭萬都さんによる子どもと大人の立場が逆転する「初天神」で笑い、ストリート松浦さんの軽妙なトークとバラエティ豊かなジャグリングに、友人たちと大笑いしながら



金馬師匠はじめスタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

各人物の演じ分けとスピード感、そして歯切れの良さはさすが金馬師匠！楽しい時間を過ごせたことを、帰路に着く方々の笑顔が物語っていました。

師匠は「唾の釣り」では身振り手振りで必死に唾のふりをするとどこか憎めないキャラクターを演じ、ずる賢さと少し抜けている人間の可笑しさを、「抜け雀」では絵に描かれた雀が抜け出すという不思議な話がだんだんドラマチックになる展開からの落ち。



3番目のストリート松浦さんは、愉快なトークと共に見事なジャグリングを披露してください会場はため息と拍手につつまれました。

最後に今一度金馬師匠の落語「抜け雀」を楽しみ、会場はこの日一番の笑い声に沸き、あつという間の2時間でした。
本場の落語を豊丘で楽しめたことに感謝し、次回を今から楽しみにしています。

**楽しかった
金馬寄席**
八王子 吉田智恵子

9月12日の「とよおか金馬寄席」に参加させていただきました。
開会にあたっての村長挨拶の中で、この事業は16回目になると聞き、長く続けてきてくださった村・公民館・実行委員の皆さんに感謝しました。
二ツ目の萬都さんの落語からはじまりました。

おだんごを食べる所作には感心し、次の金馬師匠の落語では七兵衛と番人の様子に笑ってしまいました。

地域の絆、ここにあり

分館報を 垣間見る「1」

村内5つの分館で発行している「分館報」。各分館や地域の話題を提供しています。今月は分館報の一部を紹介します。
第1分館で今年6月に発行された第152号から、前年度の冬季レクリエーション大会のボッチャの様子を紹介。優勝チームのメンバーからは、「今回の体験で生まれた絆をこれからの地域活動にも繋げていきたいと思います」という声が寄せられていました。



ボッチャ優勝の地蔵道自治会

第2分館で今年7月に発行された第79号から、5月31日に行われたそば打ち大会の様子を紹介。参加した小学生からは「水を少しずつ分けて入れるタイミングが分からず、(中略) まとまらなくなっていました。先

●大写真

令和8年度文化事業「とよおか金馬寄席」

村・実行委員会の主催による、三遊亭金馬師匠をお迎えしての「とよおか金馬寄席」。今回で6回目となる金馬師匠をはじめ、二ツ目の三遊亭萬都さん、ジャグラーのストリート松浦さんが出演。185名の観客が名人の落語とジャグリングの技を堪能し、会場は笑い喝采に包まれました。

ぜひ、地域の分館報もご覧ください。今後も本連載で分館報の紹介を行っていきます。



生はとても簡単そうにやっていたのにむずかしかった。「みんなで食べた時は、いつものそばより格別においしかったです」「そばを打って見たら、めっちゃめっちゃなくなっちゃったけど先生が作ったそばは(中略) ちょうどいい太さです」といっていました。という感想も寄せられており、親子で楽しく参加された様子がうかがえます。

老いてなお健在

福島区長 松尾和裕

福島区では毎年、後期高齢者を対象に敬老会を開催しています。今年は9月20日に歌手の藤和也さん（松川町在住）をお迎えし、お集まりの皆さんと長寿をお祝いしました。

当日、招待者の参加者は24名、来賓に菅沼副村長、社協からは鳴沢課長さんのご臨席を賜り、区の役員のほかに民生委員、にこにこ会（ボランティア団体）



の皆さんのご協力をいただき盛大に執り行うことができました。

歌謡ショーは、藤和也さんの市田柿を詠った新曲『天竜の霧』の披露もあり、市田柿を生産されている方には、CDのプレゼントもありました。また、藤和也さんを囲んで、来賓のお2人をはじめとし、皆でデュエットやコーラスを楽しみ、大いに盛り上がり、最後に皆で信濃の国の大合唱を行い閉会となりました。福島地区も年々高齢化と人口減が進んでいます。が、「生涯現役」を目標に、「春日神社」、「てっぺん公園」がある福島区を守っていただきたいたい願ってやみません。福島地区をこよなく愛

し、これからもこの地区を皆で力を合わせて人生を全うすることを、皆で共感していただけたと思います。「この地区に生活してよかった」と思える区の自治に、これからも努めていかなければと、改めて感じさせていただいたひと時でした。



全国の壁を痛感！

日本スポーツマスターズ挑戦記

48オールスターズ監督 片桐雅博

9月のシルバーウィークに、「日本スポーツマスターズ2026石川大会」の男子ソフトボール競技に出場してきました。40歳以上の壮年ソフトボール県大会で準優勝することができ、昨年に引き続き全国大会に出場できたことは、我々にとっては非常に喜ばしいことでした。

実は我々はこの大会の前に50歳以上の実年大会で北信越優勝（快挙！）を果たしていました。この自信も打ち砕かれ今は少し落ち込んでいます。お餞別を頂いた先輩方、

コ良さで試合中でも見られてしまうこともありましたが、1回戦の相手は滋賀県代表チームでしたが結果は0対7、1安打完封と完敗しました。相手投手のすばらしい投球に三振の山を築き、手も足も出ませんでした。全国とのレベル差をまたまた痛感してしまいました。

家族や職場、ご協力いただいている皆様方に感謝を申し上げます。全国大会なんて滅多に行けるものではないかもしれませんが、いつかまたチャンスがあればリベンジしたい！これからも素晴らしい仲間と楽しく練習に励んでいきたいと思っています。



公民館文化祭作品展
ゆめあるてに
お立ち寄りください！
作品展
11月8日（日）
～15日（日）
8時30分～21時30分
※（水曜日）17時まで
（最終日）15時30分まで
公民館登録グループや小学生、個人で活動されている皆さんなどの素敵な作品が展示されます。

催事「お抹茶を楽しむ会」
お茶会 11月14日（土）
10時～14時 一服500円

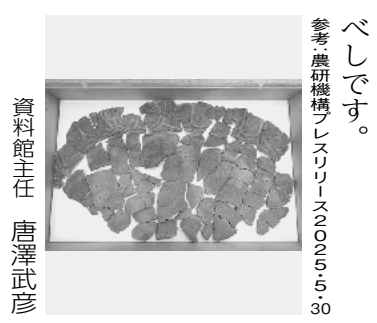


写真は伴野原遺跡出土の「種実庄痕土器」です。縄文中期（約四千五百年前）の物で、300粒ものアズキの種子が練り込まれている貴重な土器です。▼今回は、この土器に残っているアズキの痕を、この土器に

こちら資料館 269

アズキの原産地は日本であった!!

▼元来アズキは中国原産とされ、日本には大陸から伝わったものといわれてきました。しかし、最近の研究で、今アジアで栽培されているアズキは全て日本が原産地であることが解明されました。実は、アズキの日本起源説は、近年の発掘で縄文時代の遺跡からアズキの種子が多数出土し、特に縄文後期の物は同時代の中国や韓国の物に比べ大粒であるという事実があったからです。人は栽培を繰り返すうちに大粒のアズキを自然に選びます。粒が大きいことは



それだけ栽培の歴史が古いことを意味します。▼さて、今回の研究は筑波の農研機構を中心に行われました。アジア各地から集めた栽培アズキとその祖先である野生種のヤブツルアズキ全693系統の全ゲノム（遺伝子）配列を解析しました。また、全系統の葉緑体のゲノム解析も行いました。葉緑体には花粉（♂）からの遺伝子は受け継がれず、種子親（♀）の物だけが受け継がれます。つまり、葉緑体には祖先の遺伝子がそのまま残っていることになり、▼解析結果です。中国を含む全ての栽培

資料館主任 唐澤武彦

Dignity 尊厳

“尊厳ある社会”へ 介護を支える皆さんと考える Vol. 5

NPO 法人 どんつく
どんつくデイサービス
センター
生活相談員
稲岡 美香 さん
(前編)

介護の一端を知り・考えるきっかけを目指す連載の5回目。稲岡さんインタビューを次号（11月号）と併せ、ご紹介します。

義父母の介護を経験、加えて夫が障害を得るなか介護の仕事の大切さ痛感

10年ほど前、要介護4とされた義父を、自身の仕事をこなしながら義母と協力し在宅で介護。当時の経験がきっかけとなり「人の役に立ちたい」との思いが深化。数年前から介護職に就くことを考えていた折、熊谷圭笑（たまえ）施設長と出会ったのが縁でどんつくに入職します。一方、義父が他界してしばらく後、持病の治療を受けた夫が思わぬ障害を得ることとなり、取り巻く状況は一変。そのような稲岡さんを慮り、義母は亡くなる直前「私のことはいいで、息子のことを頼むな」と。当初こそ激しく落ち込んだ夫も持ち前の精神力でリハビリに励み、障害はありつつも社会復帰。今は在宅ワークでいきいき働き、日々前向きに活動。「私の仕事の一番の理解者

は主人です」。喬木村出身、飯田市在住。

「家庭のような触れ合い」モットーに地元密着型サービス

豊丘村の地域密着型通所介護所「どんつくデイサービスセンター」は、手作りの昼食やおやつを提供を重視。お風呂も利用者一人ひとりの体調に合わせた個浴が特徴です。1日平均10名（定員15）の利用者に、全職員10名のうち介護職員（常勤・パート合わせ）3名および看護師1名が対応します。

気軽に声がけいただけるような、暖かい雰囲気づくりを心がけ

この仕事を始めた当初、ある利用者の方から「語尾が優しく、ほんわかとして暖かい感じの飯田弁で言葉がけをしたら」と助言。以来、もともと人見知りしない性格もあり、利用者の目線に立って自分らしく飯田弁全開で接する姿勢を守ります。「利用者さんに朝から1日気持ちよく過ごしていただけるよう、日々のコミュニケーションや顔を覗くことを大切にしています」

(池野隆)

図書館だより 10月号

< 移動図書のご案内 >

11月の移動図書

6日(金)壬生沢福島集落拠点施設 時間 午後8時～9時

< 読書月間のお知らせ >

11月は読書月間です。期間中に図書館に来館するといつものスタンプカードの数が2倍になります。ぜひお越しください♪

< 本の紹介 >

『傘袋でジッパー袋で！
最高においしい野菜が1年中、
楽しく作れる本』
ベランダ栽培家 ぼたろう (著)
株式会社 KADOKAWA

この本はお家のベランダ菜園や、小さい規模で野菜作りをしたい方におすすめの1冊です。題名にあるように著者は基本的なプランターに加え、ビニールジッパー袋、傘袋などなど、本来の用途と異なる日用品を使って自由に野菜作りをしているのが特徴的です。読み終わると、きっと家にある何かで「これ育ててみようかな？」とアイデアが浮かんでくる、楽しい本になっています。



しおりをゲットして記念写真を撮ってみませんか？

図書館 山口里佐子

今月のほんだな



『津田梅子』

中山千英子 文

杉谷エコ もちひやくえん 絵

出版社：Gakken

贈りびと 豊丘北小学校6年

図書委員長 木下すず

私は、『津田梅子』という本を紹介します。このお話は、日本人初の女子留学生としてアメリカに行った津田梅子が、帰国した後も、日本に学校をつくるという目標に向かって努力を続けていくお話です。

私がこの本ですごいと思ったところは、津田梅子の努力です。津田梅子はたったの6さいでアメリカに行き、慣れない外国での勉強を続けました。そして日本に帰国してから、身につけた英語を生かして女性の教師になり、学校をつくるという夢を実現させました。6さいで親元をはなれて外国へ行き、そこで学び続けたことにおどろきました。長い間努力を続けて夢を実現させた津田梅子の生き方を、私は見習いたいと思いました。

この本は、津田梅子の生き方だけでなく、当時の女性の生活について分かりやすく学ぶことができます。津田梅子について知りたい人や、歴史に興味がある人はぜひ、読んでみてください。

つどう！つながる！仲間たち

あの頃のメロディをもう一度！

アコギ研究会 代表 筒井 剛

中学校の同級生5人で「ザ・暮らしメイツ」として活動中の「アコギ研究会」です！ ギター、ベース、そして女性2人のツインボーカルで、70～80年代の懐かしいフォークソングを中心に楽しく活動しています。私たちの目指す場所は、誰もが気軽に口ずさめる「歌声喫茶」のような温かい空間です。音楽を通じて、地域の皆さんに少しでも懐かしさや元気をお届けできたら嬉しいです。地域のイベント等で見かけましたら、ぜひ温かい拍手をお願いします！



公民館登録グループ・体育協会加盟団体

ダンスで最高の仲間を作って、一緒に地域を盛り上げませんか？

エンジェル☆ファイターズ 代表 松下舞莉

豊丘村を拠点に、保育園児から高校生まで幅広い世代が集うダンスチーム。

「ダンスを好きになってほしい」を原点に、仲間と踊る楽しさを大切にしながら、日々挑戦しています。公民館団体だからこそできる温かさを力に変え、クオリティの高いパフォーマンスで、地域に元気と感動を届けます！



興味のある方は、公民館へご連絡、または、エンジェルファイターズと検索しインスタのDMまでお願いします。

段丘俳句会

露草の碧の目に染む愛犬墓

オリオン座朝は南に秋すでに

皺の手に今年林檎の出来を見る

落し文にも夫徳ぶばかりなり

スマ・ホ料理母とわかちぬ帰省の子

紫蘇もんで色香によへる指の先

城下町しづもる雨の括り萩

天竜川の風のをりや葛蘭ける

兄はいま何処の道か鰯雲

青毬を揺らす二百十日の風

葭簀外せばまゆみの実色づける

植えねども立咲く百合のすまし顔

風の子が稲穂の上に来て遊ぶ

とよおか短歌会

針穴に糸が通せず四苦八苦

孫に頼めば「はいできました」

迎え火を家族で焚いてお盆くる

キュウリとナスで馬牛作る 小六 筒井爽太

何時までも暑さ続きの昼下がり

一筋の風風鈴鳴らす 松尾ヒサコ

息子等の初めて育てたミニかぼちゃ

日照りの畑で日焼けや虫くい 福澤貴美恵

盂蘭盆の「南無阿弥陀仏」声明す

線香ゆらぎせせらぎの音 福澤郁文

特大の西瓜を切らん息ころす

六つの視線一点集中 大原真由美

夕映えの綺麗に染まりて天竜川に

影絵のごとく陽は沈みゆく 毛涯百合子

世の定め産まれ乍らに翁草

白髪纏ひて俯きて咲く

福澤亀人

段丘

偶然の出会いや予期せぬ発見などを意味する「セレンディピティ」という言葉を何度か目にし、印象に残りました。近年影が薄くなりつつある新聞などオールドメディアの存在意義を肯定する文脈でした▼話題は変わりますが、私の祖母の実家(飯田市座光寺)では葬儀に関する連絡の際、「びんぎ」です」と告げた後に日程などの説明が続くのが常です。では、その「びんぎ」というのはいったい何なのか。ネット検索しても「便宜(べんぎ)」の古語表現とか、「都合のよいこと」「特別なからい」「音信」といった一般的な意味に触れるのみ。冒頭の使用例に当てはまる説明には至りません▼長年の謎を解いたのは6月13日付け朝日新聞の山田慎也・国立歴史民俗博物館教授へのインタビュー記事「多死社会 弔いのカタチ」。古来、葬儀は「通知や沙汰、便宜など」で知らせ、それを受けたら葬儀に行くのが当たり前だった、との記述を発見。セレンディピティの恩恵を実感しました。

(池野隆)

文字は、昭和30年7月発刊の第1号から、題字は同年9月発刊の第2号から、令和8年3月発刊の第781号まで。



ルリボシカミキリ
(カミキリムシ科)



甲虫の種類数の多さについてはNo.261で紹介したが、その中でも、カミキリムシ科の多さは際だっている。理由は大型（手ごろな）で、その上、美しいとくれば、おのずと種類数は増えていった。そんな中で、特に美しいのが今日の主役、ルリボシカミキリ。

ところが、最近の話題は、害虫としてのカミキリムシ。そう、サクラやモモ、ウメなどの樹木を

追伸：昭和50～62年にかけて、キボシカミキリによる桑の大被害。17匹捕まえると50円のアイスクリームが1個買えた。とは、当時小学生だった子どもの声。

山田 拓

— 昔の思い出

小 学4年生の時、対岸まで天竜川を泳いで渡った。当時の天竜川は水量が多く、中州が無くて1本の川だった。泳いで渡るのがガキ大将の証だったので、勇気を出して波打つ天竜川に飛び込んだ。波を被って気絶しそうになったが、死に物狂いで泳いだ。大冒険だった。

— マレットゴルフが健康で幸せな生活の源

現 在の健康で幸せな生活は、プレーを楽しみながら行っているマレットゴルフが礎、核になっている。マレットゴルフの良いところは、お金をかけずすぐにできること、プレーしながら36ホール・3000歩近く歩き、心身ともに健康維持につながっていること、大会予定等を目標に生き生きと生活できることなどである。カレンダーにマレットゴルフや孫の来訪、地域の行事などの日程を赤丸し、その日が来るのを心待ちにしているのが楽しみであり、励みになっている。マレットゴルフが生きがいであり、生活を支えている。マレットゴルフはフレイル予防に最高だと思う。

— 今の楽しみ

ハ ーモニカにも凝っている。（つかえることや音程がずれることもなく披露された、唱歌から懐メロまで、6曲ほどの演奏に聴き入った。）



あの人 この人



— 若い世代へのメッセージ

プ レーしながら楽しめる運動を見つけて体力増進・健康維持を図り、充実した生活を送っていただければと思う。

— 豊丘村への想い

花 で彩られた村であってほしい。花作りに対する意識が深まり、人が集まる所などを中心に、地域や周りが花でいっぱいな空間になったらうれしい。みんなできれいな村・地域にしていこうという空気・雰囲気が高まれば、活性化にもつながると思う。

（聞き手／小池光好）

— プロフィール —

福島 荒治さん（南市場）
昭和4年生まれ 97歳
平成2年3月、42年間にわたる小学校の教員生活を終えた。在職中は、教科外活動として花作り・音楽・スポーツを中核に取り組んだ。退職後、産休教員の補充として10年ほど勤めた。また、マレットゴルフのクラブに加入し、交流を深めるとともに技量を磨いた。現在、年2回の村のシニア大会に出ている。

きらり☆豊丘村のこどもたち

中学校文化祭『輝丘祭』

仲間と共に創り上げた青春の結晶



▲ 生徒会企画：委員会発表



▲ 吹奏楽部の発表



▲ 2年 職場体験学習の発表



▲ 生徒会企画：全集中！紙飛行機・飛距離対決



▲ 音楽会 3年2組



▲ 音楽会 3年1組



▲ 音楽会 3年3組

豊丘村の「これ」知ってる？

豊丘村の秋といえば「松茸」ですが、実は多様な“雑きのこ”の宝庫でもあります。別名（地方名）がある次のきのこの名前はなんでしょう？



【答え】 ショウゲンジ
（別名：ボウズタケ・ズコンボウなど）

【解説】 アカマツ林等の針葉樹林や広葉樹林にも発生。クセがなく強い旨みがあり、

汁物や雑炊、お肉料理など幅広く楽しめます。



【答え】 クロカワ
（別名：オショウニンなど）

【解説】 アカマツ林等の針葉樹林に発生。強い苦みとコリコリした歯ごたえが特徴で、焼き物（生姜醤油）

やバターソテーにおすすめです。



【答え】 アミタケ
（別名：イクチなど）

【解説】 アカマツ等のマツ林に発生。加熱すると紫色に変化。強いぬめりとぷるぷるな食感が汁物や大根

おろし和えにぴったりです。